

ESDウィーク2012

レポート

「ESDウィーク」は、ESDの輪を広げること
を目的としたESD推進強化期間です。期
間中に行われたいくつかのイベントを紹介
します。



11月11日(日)

ESDカフェ・スペースシヤル

このイベントは、ESDに関する
テーマについてゲストと参加者が対
話することを目的に毎月1回開催。
今回は『hanare』と『西粟
倉・森の学校』からゲストを招きま
した。京都にある『hanare』
は、「21世紀型公民館」と銘打ち、
一つの建物の中でカフェや本屋、イ
ベントスペース、シェアオフィスを
運営。『西粟倉・森の学校』は、廃
校になった小学校を利用したカフェ
を運営するほか、西粟倉村の素材を
使用したものがづくりをしています。
地域の資源や人財、人のつながりを



「循環型生活」、「公民館」、「食・カフェ」
などに興味を持った約50人が参加



11月4日(日)

ふるさと再発見！旭川源流大学 旭川まるごと探検隊竹枝かいぼり

生物多様性の保全、自然再生につ
なげることを目的に毎年行っている
「旭川かいぼり調査」を実施。岡山
市北区建部町吉田の竹枝小学校前河
川敷で行われ、小・中学生や教職員、
家族連れや研究者など約300人が
参加しました。「かいぼり※(1)調査」
では、上流から流れる水をせきとめ
水位を下げて生物を採取。中でも淡
水魚のアカザは、採取した数を毎年
数えていくことで、旭川の水質や生
態のバロメーターとしています。2
011年大規模な出水により960

匹に減少したアカザは、2012年
1344匹となり、採れた魚種も増
加。前回、多人数で川の石を動かし、
生物のすみかを増やしたことが自然
再生を手助けしたと言えそうです。
採取した生き物は、水槽に展示して、
その生態についての解説も行いまし
た。調査の後は、川底の石を動かし
て魚や水生昆虫のすみかとなるすき
間をつくり、最後に採取した生き物
を川に戻し終了。参加者は、子ども
はもちろん、大人も調査ということ
を忘れるくらい、楽しんでいました。



石をめくってアカザや水生昆虫を見つける子どもたち。自然体験を
しながら調査研究に市民が参加できる点でも貴重な機会となった

※(1)かいぼり…川の水をせきとめて水位を下げること



11月25日(日)

サステナ・ガールズ・トークセッション

ESDのS、「サステナビリテイ
(持続可能性)」に根ざした新しいラ
イフスタイル」をテーマに、岡山で
活躍する女性5人がトークを展開。
話題は、子育て、仕事、自然、コミ
ュニティ、岡山の魅力など多岐にわ
たり、ガールズトークに花が咲きま
した。老若男女集まった会場の人々
も交えて、終始和やかなムードで進
行。「私にとって、サステナビリテイ
とは？」という問いには、「愛」「好
きなことを好きなように」「つな
がり」「ぬくもり」「夢」などの答えが
挙がりました。



「岡山芸術回廊」期間中の天神MAM内
カフェスペースにて

サステナビリテイは、身近なこ
ろから。これから多くの人々に、持
続可能なライフスタイルの輪が広が
っていくことを期待しています！

あなたも ESD / 始めてみませんか？

フェアトレード
製品(※1)を
買ってみよう。

地域に住む
外国の人と
仲良くなって
いろいろな話を
しよう。

この食材は
どこから来たの
だろう？
食料自給率アップに
向けて、地産地消を
心掛けよう。



生産から
廃棄まで日々使って
いるものがどこから来て、
使い終わったらどこへ
行くのか気に
してみよう。

自然に
支えられて人々の
暮らしがあることに
感謝し、大切に
しよう。

最近気になる
ニュースや地域の
課題について
友人と話し合っ
てみよう。



窓辺や、
ベランダを
利用して
野菜を育てよう。



水や石油など、
限りある資源を無駄に
使わない方法って何
だろう？ 考えて実践し
てみよう。

まずは
一人でできる
ことから。

よりよい地球に
するために、
できることは
たくさんあります。

自分の
住んでいる地域や
ふるさとの歴史、
文化、お祭りや
風習に触れて
みよう。



持続可能な社会づくりは身近なところから。

一人一人何ができるか
考えて学び行動してみませんか？

(※1) フェアトレードとは、公正な貿易のこと。途上国の原料や製品を、適正な価格での継続的な購入を通じて、立場の弱い人たちの自立と生活を改善することを目指す取り組みです。

NPO

興味のある分野の
NPO活動に
参加して
みませんか？

お問い
合わせ

安心・安全ネットワーク推進室
☎ 086-803-1061

町内会

地域の資源回収や
清掃、防災マップづくり
などに参加して
みましょう。

学校

岡山市には
ユネスコスクール
推進校が31校(※2)。
地域と一緒にESDに
取り組んでいます。
(※2)2012年11月現在



お問い
合わせ

岡山市社会福祉協議会
☎ 086-225-4051

ボランティア

誰もが安心して
自分らしく生きられる
地域づくりに向けて
ボランティア活動に
参加してみま
せんか？

公民館

岡山市の全37公民館にて、
ESDを推進しています。
気軽に足を運んで一緒に
地域の課題解決や、
未来の地域づくり
に向けて考え、行動して
みましょう。

お問い
合わせ

中央公民館
☎ 086-272-7886



ESDの輪を 広げよう！

よりよい地球に
するために
みんなの協力が
必要です。



もっと知りたいESDのこと

どこで情報を入手できるの？

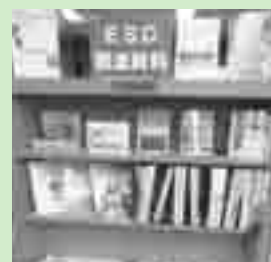
岡山市のホームページを通じて、ESD関連の情報を発信しています。またホームページから、メールアドレスを登録すれば、ESDに関する最新情報をメールで受け取れます。また、岡山ESDプロジェクトに関しては岡山ESDプロジェクトで検索。フェイスブックを通じても情報発信されています。

ホームページ で

フェイスブック(岡山ESD推進協議会) <http://www.facebook.com/okayamaesd>

中央図書館でも情報を入手できます！

中央図書館2階には、岡山でのESD活動に関する資料やESDを取り上げた新聞記事など、関連資料を集めたコーナーがあり、ESD関連本のブックリストも配布されています。今後、他の図書館でもESD関連コーナーを設置予定です。



お問い合わせ

岡山市ESD最終年会合準備室(岡山ESD推進協議会事務局)
TEL086-803-1351 FAX086-803-1777
電子メール esd@city.okayama.jp



気軽に
問い合わせね！

読者 アンケート & プレゼント!

特集「世界が注目! 岡山のESD」はいかがでしたか?
 今回も、「みんなのおかやま」への意見や感想を募集します。
 意見を寄せていただいた方の中から、
 抽選でプレゼントも当たります。

前号、「ごみの減らし方、教えます」に
 寄せられた意見・感想の中から、
 いくつか紹介します。

40代

天ぷら油がBDFになることを知り、
 次回からは回収に出そうと思った。

30代

分別も慣れてしまえば苦でない。

20代

とても関心のあるテーマ。
 がんばろうという意識が高まった。

60代

ゴミの分別を見直す
 よいきっかけになった。

50代

ゴミの出し方やリサイクル、
 知っているようで知らなかった。

30代

東部クリーンセンターの
 内容がよくわかってよかった。
 行ってみたい。

50代

一人一人の意識改革が必要。

30代

減ったと思っていたゴミが
 増えていてびっくりした。

30代

ゴミ減量、
 まだできることがあると感じた。

読者プレゼント

岡山市イメージキャラクターミッコ・ハッコ
 ぬいぐるみストラップ(2個セット)
 合計10人にプレゼント

ミッコ
 です!



ハッコ
 です!



今回の特集号への感想、今後読んでみたい
 内容などを明記して、応募してください。

応募方法……

はがきまたは封書、ファクス、電子メール(パソコン、携帯電話どちらでも可)にて、特集号への意見、住所、氏名、年齢、電話番号を記入して応募してください。なお、当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

応募先は下記の「編集後記」欄をご参照ください。

携帯電話からは、右のQRコードを読み込んで応募を。

応募締切 1月31日(木) 当日消印有効

ご意見をお聴かせください



ESDに関しては2011年10月号でも紹介しています。みんなのおかやまVol.05 特集「ご存じですか? ESD」もご覧ください。

http://www.city.okayama.jp/hishokouhou/hishokouhou/kouhou_00100.html

2013年1月1日発行 第10号
 発行 岡山市政策局広報課
 〒700-8544
 岡山市北区大供一丁目1-1
 ☎ 086-803-1024
 ☎ 086-803-1731
 電子メール
 kouhouka@city.okayama.jp
 ホームページ
 http://www.city.okayama.jp/
 制作・編集 (株)ピザピレーションズ

新年明けましておめでとうございます。
 今回のテーマは「ESD」です。ESDって何? 難しそうと思っ
 ていませんか。
 今回の取材の中で、光南台中学校の生徒さんの「ESDって特別なことではなく、普通のことなんだ」という言葉を耳にしました。
 皆さんが、普段何気なくしていることの中にもESDはあります。特別なことではなく、次世代のことを考え行動する、ほんの少しだけライフスタイルを変える。私もできることから始めてみようと思います。
 本号を一読していただき皆さんができるESDを見つけて実践していただければと思います。

